

ビットコイン入門 —1円から送る・使う・投資する— vol.3

『買い物の代金などをビットコインで支払う』

文 小田 玄紀 text by Genki Oda

お店で買い物したり、食事したりしたとき、あなたはどのようにやって代金を支払っていますか？現金で支払う、クレジットカードで決済する、Suicaなどの電子マネーで支払う、デビットカードを使うなど、シーンに応じて使い分けていると思いますが、実はビットコインでも支払いができます。代金が1万円相当のビットコインを支払うのです。

ビットコインはお札や硬貨といった実物がありませんから、現金のようにお財布から取り出して支払うことはできません。ではどうするかというと、取引所に口座を開いてビットコインを入れておく、そこから代金が引き落とされるようにする仕組みです。

例えばデビットカードでは、代金が預金口座から引き落とされますが、ビットコインの決済では、取引所に開いた口座からビットコインが引き落とされるといっわけです。

また、電子マネーではカードやスマホにお金をチャージして使いますが、ビットコインはスマホにビットコイン用のアプリを入れ、お店の端末にスマホをタッチするなどして代金を支払うこともできます。

ビットコインで支払いなんて見たことがない……という人がほとんどだと思います。



Profile

株式会社ビットポイントジャパン代表取締役副社長
1980年生。東京大学法学部卒業。大学在籍時に起業し、後に事業を売却した資金を元にマッキンゼー出身者らと共に投資活動を始める。
「頑張る人が報われる」をコンセプトにして起業家や社会起業家の事業立ち上げ・経営支援を行う。株式、FX、債権などの投資にも精通し、仮想通貨取引にも携わる。2016年3月上場会社子会社として初の仮想通貨取引所であるBitpointを立上げ、同社代表取締役役に就任する。

ですが、銀座のお寿司屋さん、六本木のバー、下町の焼肉屋さんなど、ごく普通のお店です。ビットコイン決済がはじまっています。クレジットカードで決済するときと同じように、ビットコイン決済ができるお店では、レジカウナーで一瞬のうちに決済ができます。

今後、ビットコインで決済できるお店はどんどん増えていくと考えられます。なぜなら、クレジットカードで決済するより、ビットコインで決済する方がお店にとってメリットが大きいからです。

お客さんがクレジットカードで支払った場合、お店はクレジットカード会社に対して代金の3〜5%程度の手数料を支払わなければなりません。ビットコイン決済では、この手数料が1%程度で済みます。つまり、お客さんにビットコインで支払ってもらうことにより、お店はコストを抑えることができるのです。

コスト削減ができた分は、お客さんへサービスとして還元される可能性もあります。時々、現金払いならポイントカードのポイント付与率が上がるというお店や、現金払いに限って使えるクーポンを用意しているお店がありますが、それはカード払いより、現金払いのほうがお店にとって有利だからです。ビットコインをはじめとして仮想通貨の大きな魅力と考えられており、いずれ、クレジットカード決済にとって代わる可能性もあります。実際、Amazonでは北米でビットコイン決済をはじめており、順次、エリア拡大される見込みです。

当初は電車に乗るためのものだったSuicaが、次第に駅ナカ、そして、街中で使用可能となったように、ビットコインが使えるお店も広がっていくでしょう。

「1時間でわかるビットコイン入門」
「1円から送る・使う・投資する」
（株式会社イバルより）